
キャリア教育の推進に係る調査研究事業
アンケート調査報告書（高校）

令和6年3月

株式会社ちばぎん総合研究所

目 次

I.	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査内容	1
(1)	調査期間	1
(2)	調査方法	1
(3)	調査対象	1
(4)	アンケート設問	3
(5)	本報告書を読む際の注意事項	3
II.	調査結果	4
1.	基本情報	4
(1)	職名・分掌	4
2.	進路決定	5
(1)	高校卒業時に就職を希望する生徒の有無	5
(2)	高校卒業時に就職を希望する理由	6
(3)	高校卒業時に進学を希望する理由	7
3.	キャリア教育の実践内容等	8
(1)	生徒が仕事を選ぶ際に重視していると思われること	8
(2)	学校のキャリア教育への取組姿勢	9
(3)	取り組んでいる学びや活動の効果	10
(4)	就職を支援する上での課題	11
(5)	生徒たちが身に付けておくべき力	12
(6)	キャリア教育推進に向けて困っていること	13
(7)	キャリア教育を進める上で重視すること	14
(8)	キャリア教育の指導に係る効果的な研修	15
(9)	キャリア教育推進に向けた意見	16
III.	調査票	18

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、中学生、高校生と大学生を対象とした職業意識等に関する系統的な調査、社会人を対象とした自らのキャリアについての振り返りに関する調査、企業を対象とした高校生の雇用等についての調査等を行い、その結果を今後のキャリア教育における政策形成上の参考とするために実施した。

2. 調査内容

(1) 調査期間

2023年8月28日(月)～10月13日(金)

(2) 調査方法

WEB アンケート調査(県内の全県立高校 136 課程に WEB アンケートサイトの QR コードを送付し回答を依頼)

(3) 調査対象

県立高校 136 課程(有効回答数 136 件) 回答学校は以下の通り。

学校名 ※高等学校の記載は省略		
千葉	千葉女子	千葉東
千葉商業(全)	千葉商業(定)	京葉工業
千葉工業(全)	千葉工業(定)	千葉南
検見川	千葉北	若松
千城台	生浜(全)	生浜(定)
磯辺	泉	幕張総合
柏井	千葉大宮(通)	土気
千葉西	犢橋	八千代
八千代東	八千代西	津田沼
実籾	船橋(全)	船橋(定)
薬園台	船橋東	船橋啓明
船橋芝山	船橋二和	船橋古和釜
船橋法典	船橋豊富	船橋北
市川工業(全)	市川工業(定)	国府台
国分	行徳	市川東
市川昴	市川南	浦安

浦安南	鎌ヶ谷	鎌ヶ谷西
松戸	小金	松戸国際
松戸南（定）	松戸六実	松戸向陽
松戸馬橋	東葛飾（全）	東葛飾（定）
柏	柏南	柏陵
柏の葉	柏中央	沼南
沼南高柳	流山	流山おおたかの森
流山南	流山北	野田中央
清水	関宿	我孫子
我孫子東	白井	印旛明誠
成田西陵	成田国際	成田北
下総	富里	佐倉
佐倉東	佐倉西	佐倉南（全）
佐倉南（定）	八街	四街道
四街道北	佐原（全）	佐原（定）
佐原白楊	小見川	多古
銚子	銚子商業（全）	銚子商業（定）
旭農業	東総工業	匝瑳（全）
匝瑳（定）	松尾	成東
東金（全）	東金（定）	東金商業
大網	九十九里	長生（全）
長生（定）	茂原	茂原樟陽
一宮商業	大多喜	大原
長狭（全）	長狭（定）	安房拓心
安房	館山総合（全）	館山総合（定）
天羽	君津商業	木更津
木更津東（全）	木更津東（定）	君津
君津青葉	袖ヶ浦	市原
京葉	市原緑	姉崎
市原八幡		

(4) アンケート設問

ジャンル	設問
基本情報	職名・分掌
進路決定	高校卒業時に就職を希望する生徒の有無
	高校卒業時に就職を希望する理由
	高校卒業時に進学を希望する理由
キャリア教育の 実践内容等	生徒が仕事を選ぶ際に重視していると思われること
	学校のキャリア教育への取組姿勢
	取り組んでいる学びや活動の効果
	就職を支援する上での課題
	生徒たちが身に付けておくべき力
	キャリア教育推進に向けて困っていること
	キャリア教育を進める上で重視すること
	キャリア養育の指導に係る効果的な研修
	キャリア教育推進に向けた意見

(5) 本報告書を読む際の注意事項

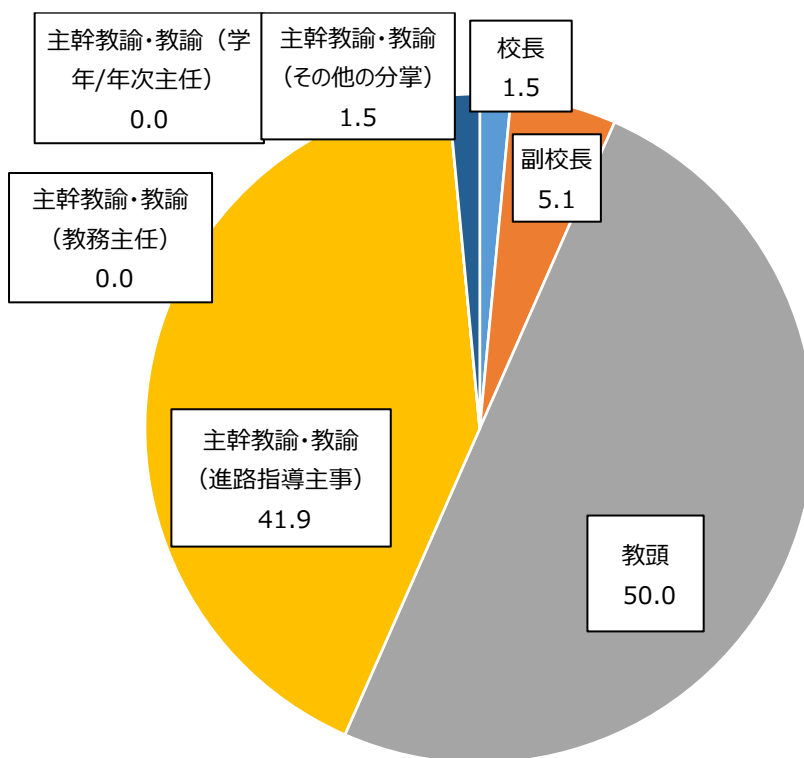
- ・表中の比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、率の合計値が100％にならない場合もある。
- ・複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出している。従って、率の合計値が100％にならない場合もある。
- ・本文中の「n」は、今回調査の設問に対する有効回答件数を意味する。
- ・本文中の「S A」、「M A」、「F A」は以下の略称である。
- ・「S A」（Single Answer）：単一回答形式（選択肢のなかから1つを選択）
- ・「M A」（Multiple Answer）：複数回答形式（選択肢のなかから複数を選択）
- ・「F A」（Free Answer）：自由回答形式

II. 調査結果

1. 基本情報

(1) 職名・分掌

図表 1 職名・分掌



% n=136

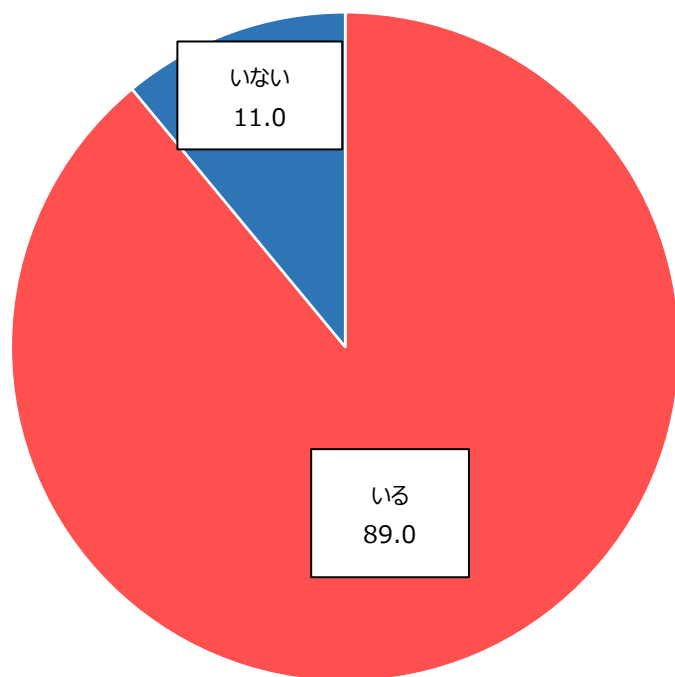
2. 進路決定

(1) 高校卒業時に就職を希望する生徒の有無

現在、貴校において高校卒業時に就職を希望する生徒はいますか。(SA)

○ 就職を希望する生徒について、「いる」が 89.0%、「いない」が 11.0%となっている。

図表 2 高校卒業時に就職を希望する生徒の有無



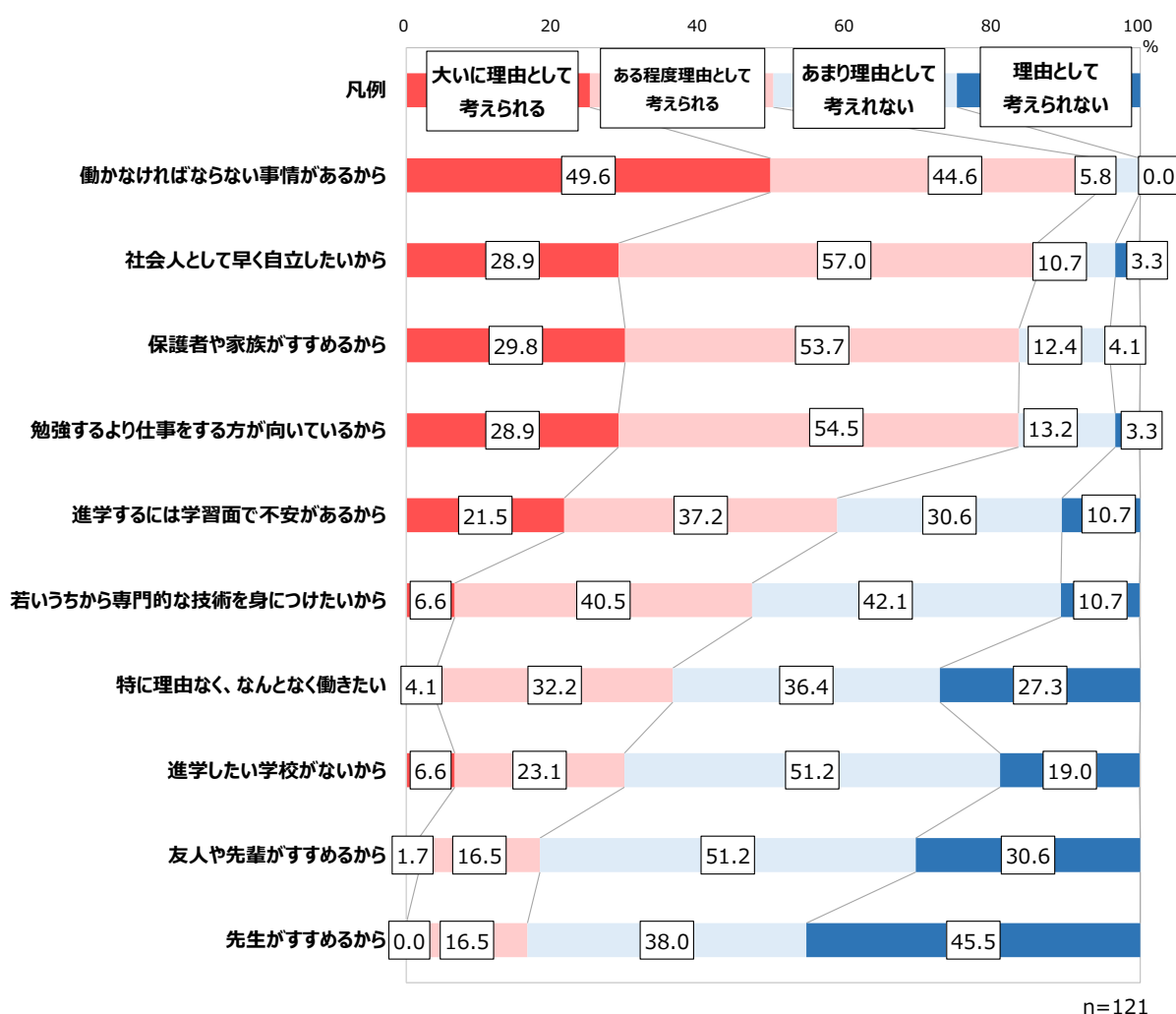
% n=136

(2) 高校卒業時に就職を希望する理由

貴校の生徒はどのような理由で、高校卒業後に進学せず就職を希望していると思いますか。(S A) ※「就職を希望する生徒の有無」で「いる」と回答した高校のみ

- 就職を希望する理由について、「理由として考えられる（『大いに理由として考えられる』と『ある程度理由として考えられる』の合計）」をみると、「働かなければならない事情があるから」が94.2%と最も多く、次いで「社会人として早く自立したいから（85.9%）」、「保護者や家族がすすめるから（83.5%）」、「勉強するより仕事をする方が向いているから（83.5%）」となっている。

図表 3 高校卒業時に就職を希望する理由

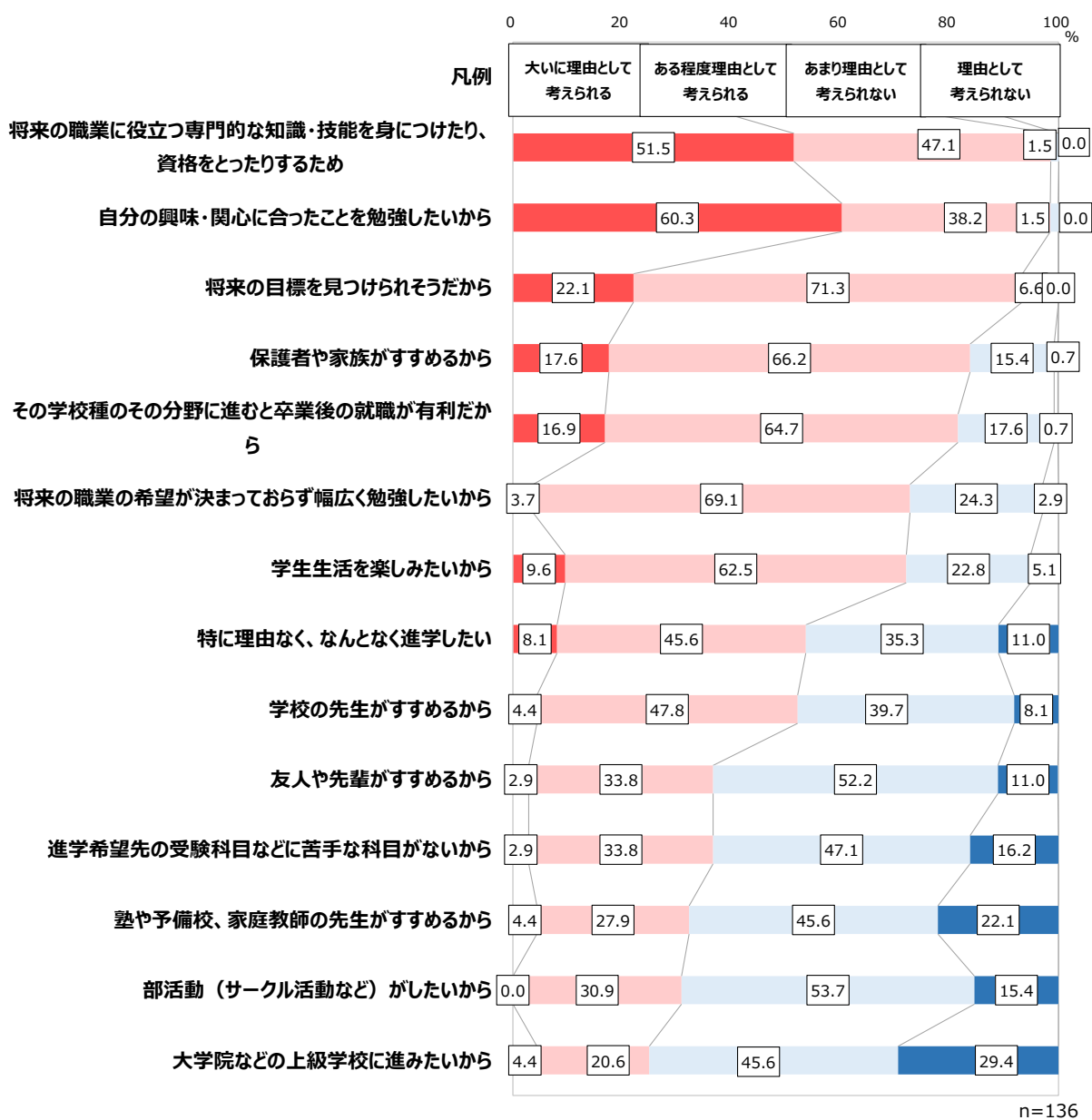


(3) 高校卒業時に進学を希望する理由

貴校の生徒はどのような理由で、高校卒業後の進学先（学校・分野）の希望を決めていますか。（S A）

○ 進学を希望する理由について、「理由として考えられる（『大いに理由として考えられる』と『ある程度理由として考えられる』の合計）」をみると、「将来の職業に役立つ専門的な知識・技能を身につけたり、資格をとったりするため」が 98.6%、次いで「自分の興味・関心に合ったことを勉強したいから（98.5%）」が、「将来の目標を見つけられそうだから（93.4%）」となっている。

図表 4 高校卒業時に進学を希望する理由



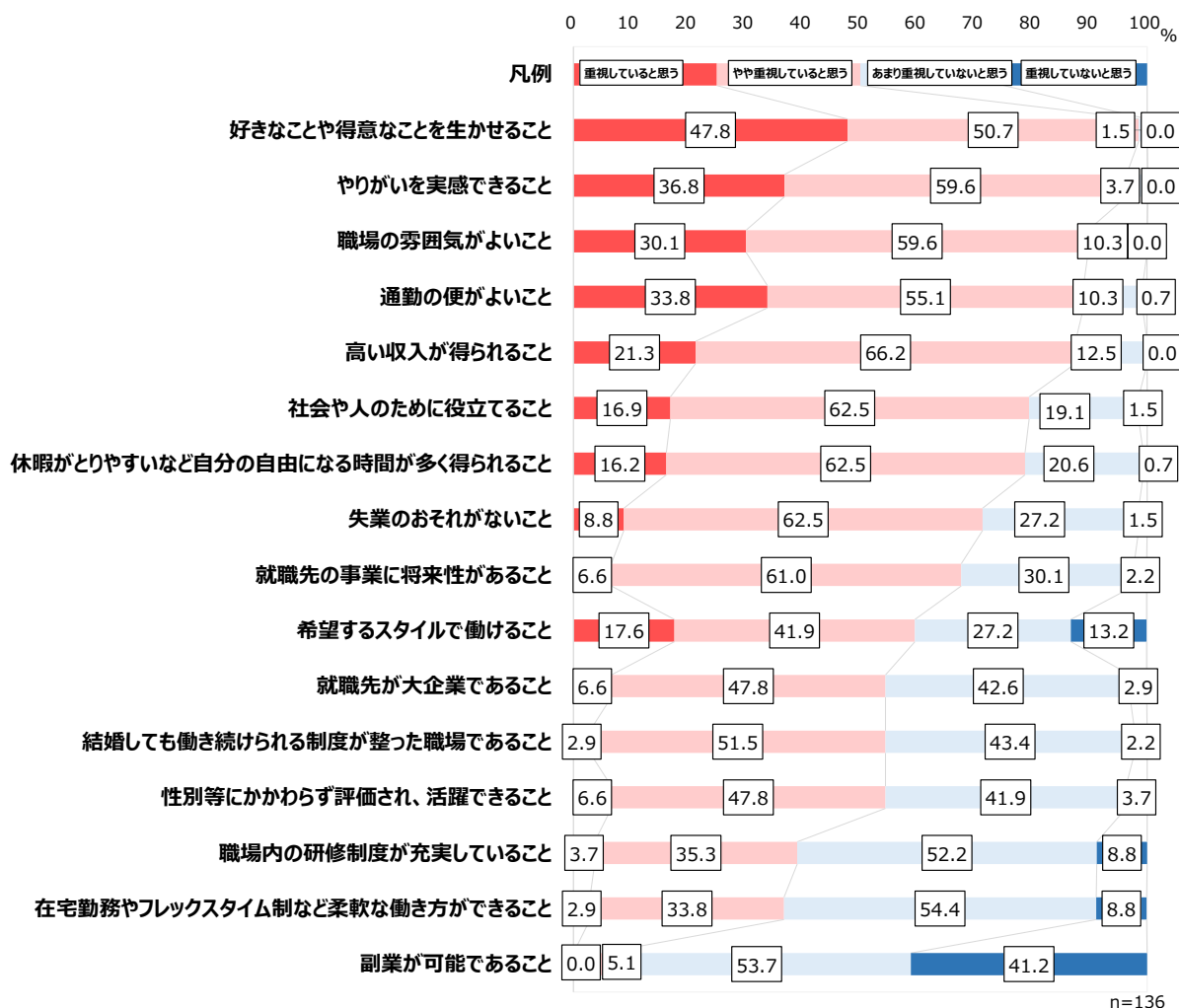
3. キャリア教育の実践内容等

(1) 生徒が仕事を選ぶ際に重視していると思われること

貴校の生徒は全体として、将来仕事を選ぶ際に、下記項目についてどの程度重視していると思いますか。(SA)

○ 生徒が仕事を選ぶ際に重視していると思われることについて、「重視している（『重視していると思う』と『やや重視していると思う』の合計）」をみると、「好きなことや得意なことを生かせること」が98.5%と最も多く、次いで「やりがいを実感できること（96.4%）」、「職場の雰囲気が良いこと（89.7%）」となっている。

図表 5 生徒が仕事を選ぶ際に重視していると思われること

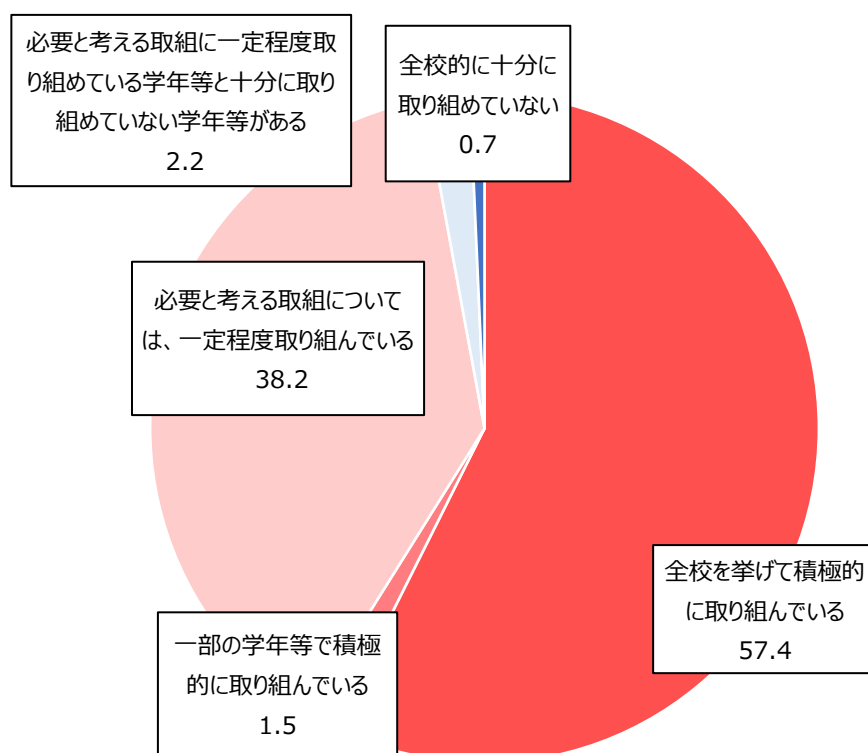


(2) 学校のキャリア教育への取組姿勢

貴校のキャリア教育の取組姿勢について、あてはまるものを教えてください。(SA)

- キャリア教育の取組姿勢について、「全校を挙げて積極的に取り組んでいる」が57.4%と最も多く、次いで「必要と考える取組については、一定程度取り組んでいる(38.2%)」、「必要と考える取組に一定程度取り組んでいる学年等と十分に取り組んでいる学年等がある(2.2%)」となっている。

図表 6 学校のキャリア教育への取組姿勢



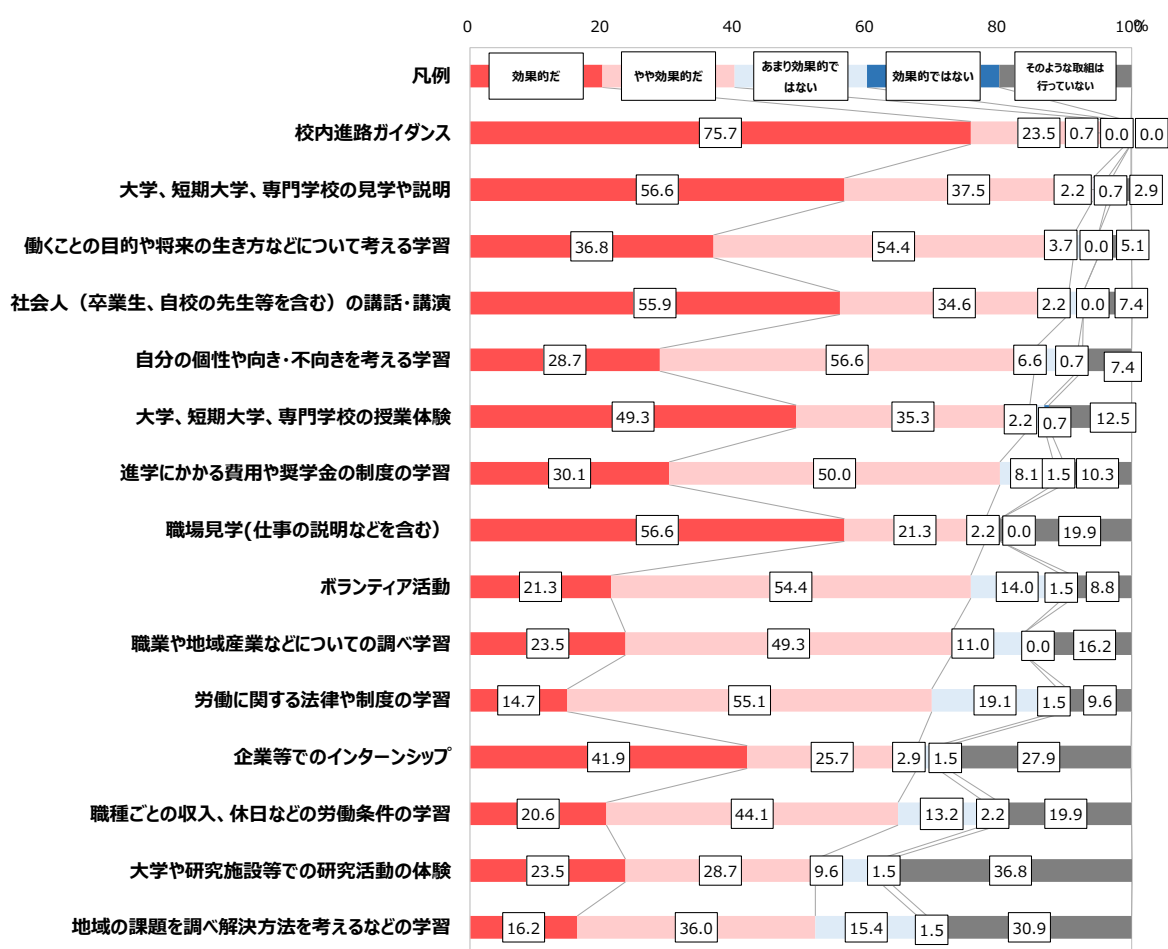
% n=136

(3) 取り組んでいる学びや活動の効果

貴校で取り組んでいる学びや活動は、生徒たちが自分の将来を考えるに当たり、どの程度効果的だと思いますか。(S A)

○ 取り組んでいる学びや活動の効果について、「効果的（『効果的だ』と『やや効果的だ』の合計）」をみると、「校内進路ガイダンス」が99.2%と最も多く、次いで「大学、短期大学、専門学校の見学や説明（94.1%）」「働くことの目的や将来の生き方などについて考える学習（91.2%）」となっている。

図表 7 取り組んでいる学びや活動の効果



n=136

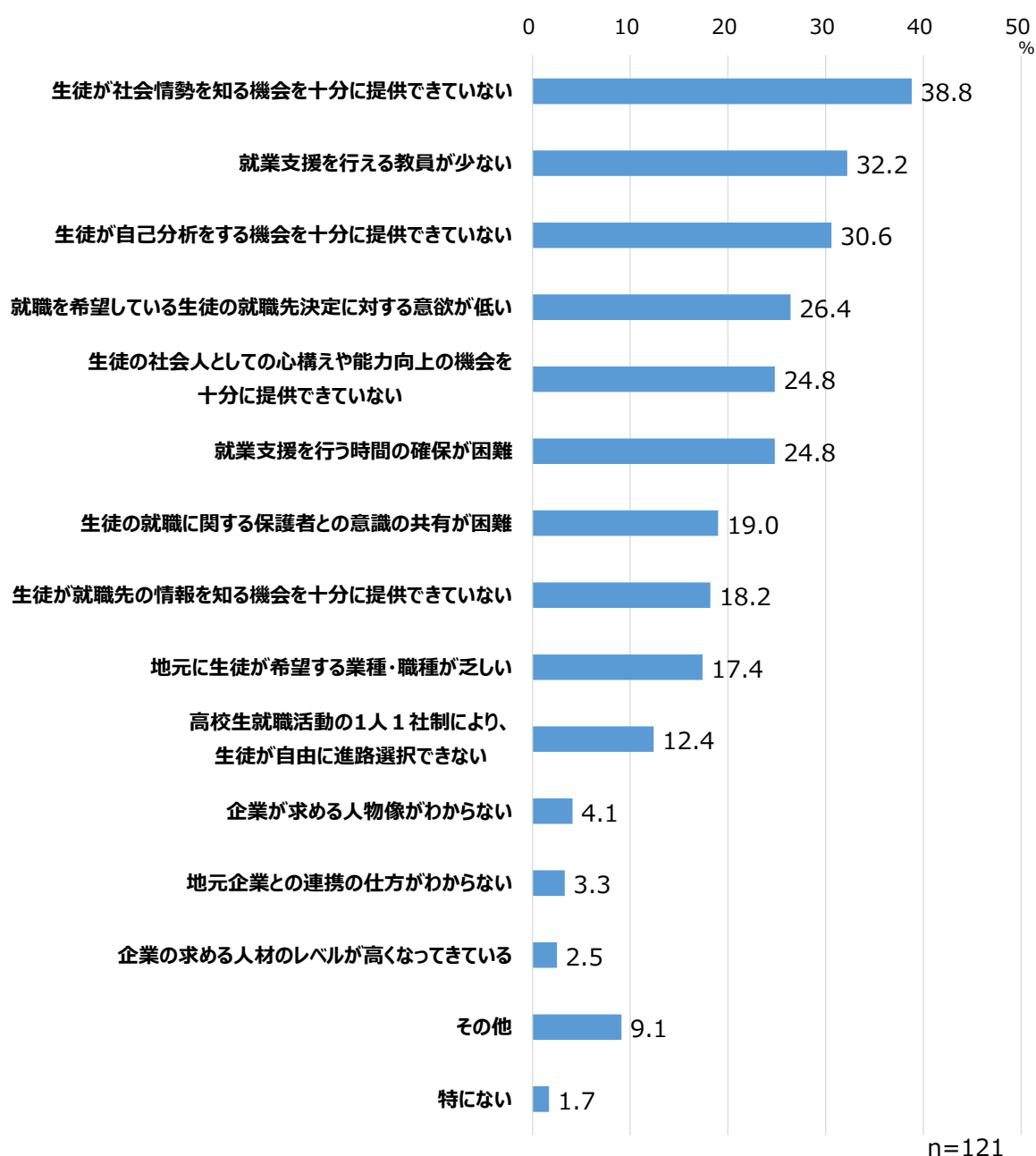
(4) 就職を支援する上での課題

生徒の就職を支援する上で課題に感じていることを全て選んでください。(M A)

※「就職を希望する生徒の有無」で「いる」と回答した高校のみ

- 就職を支援する上での課題について、「生徒が社会情勢を知る機会を十分に提供できていない」が 38.8%と最も多く、次いで「就業支援を行える教員が少ない(32.2%)」、「生徒が自己分析をする機会を十分に提供できていない(30.6%)」となっている。

図表 8 就職を支援する上での課題

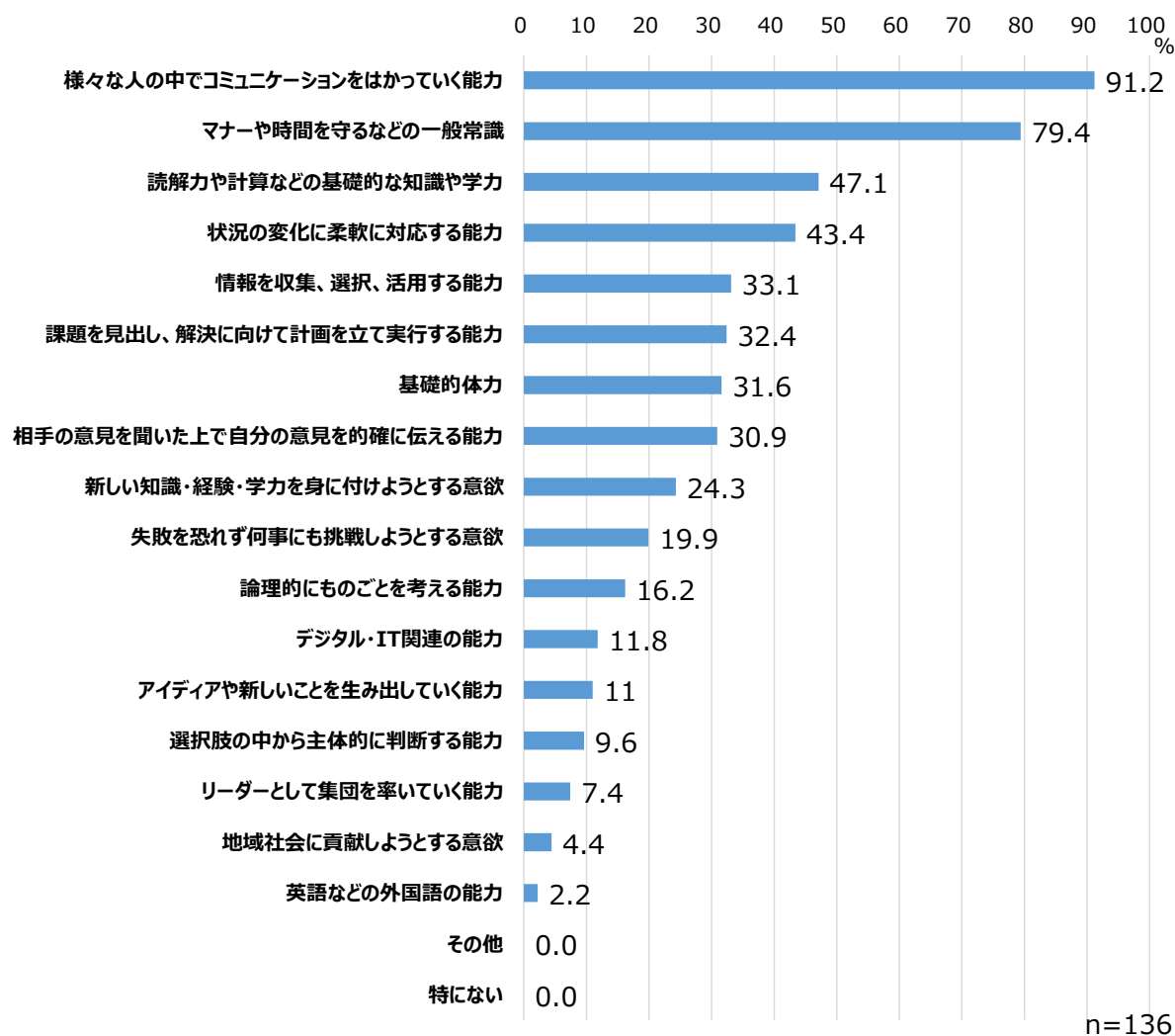


(5) 生徒たちが身に付けておくべき力

学校として、生徒たちが将来、仕事をするまでに身に付けておくべきだと考える力などを以下から上位5つまでで選んでください。(M A)

○ 生徒たちが身に付けておくべき力について、「様々な人の中でコミュニケーションをはかっていく能力」が91.2%と最も多く、次いで「マナーや時間を守るなどの一般常識(79.4%)」、「読解力や計算などの基礎的な知識や学力(47.1%)」となっている。

図表 9 生徒たちが身に付けておくべき力



(6) キャリア教育推進に向けて困っていること

貴校において、キャリア教育推進に向けて困っていることを全て選んでください（M A）

- キャリア教育推進に向けて困っていることについて、「キャリア・パスポートの活用方法に難しさを感じている」が 51.5%と最も多く、次いで「キャリア教育を実施する十分な時間が確保できない（45.6%）」、「キャリア教育と進路指導の違いをわかっていない教員が多い（30.9%）」となっている。

図表 10 キャリア教育推進に向けて困っていること

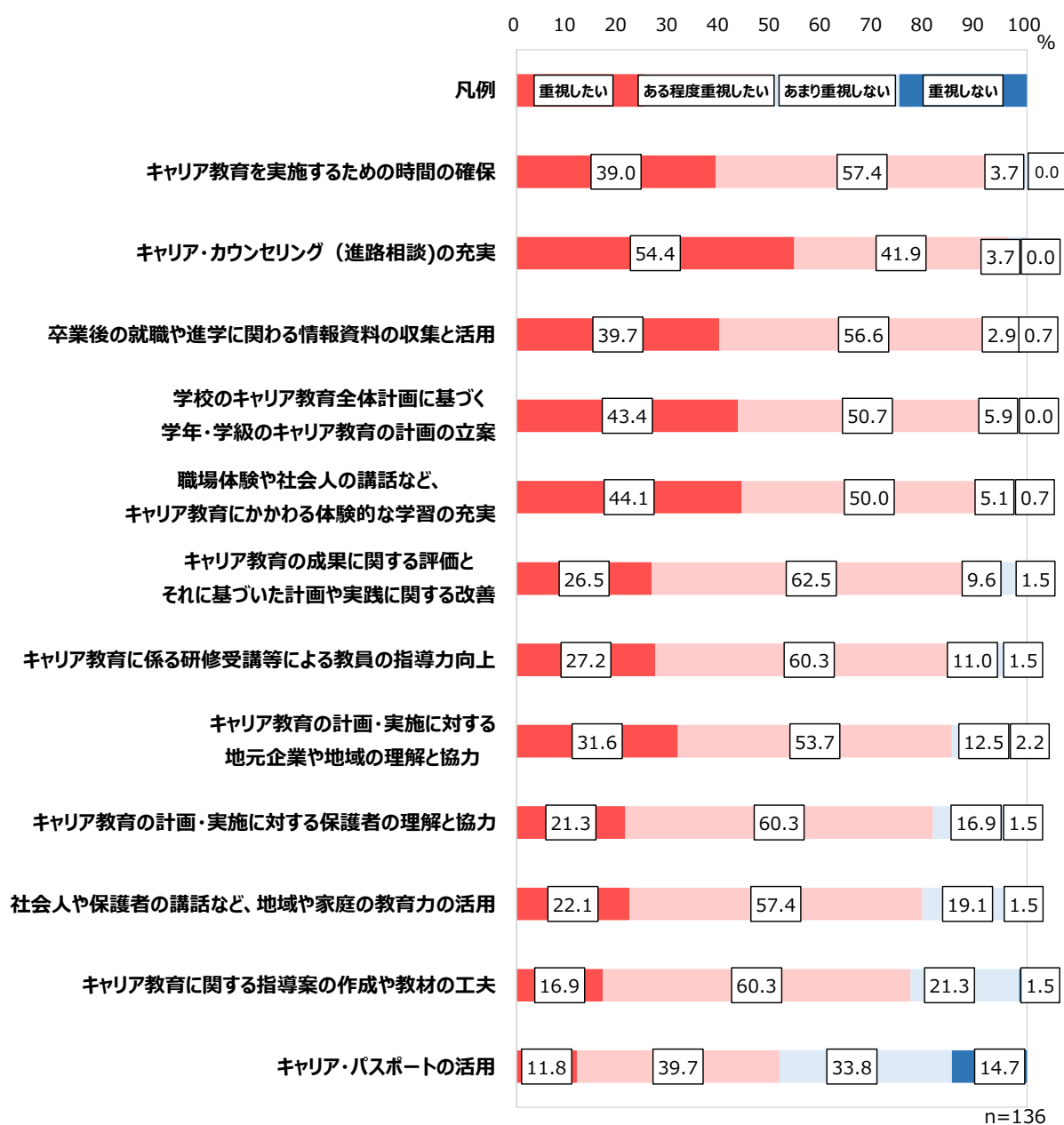


(7) キャリア教育を進める上で重視すること

貴校において、今後キャリア教育を進める上で、以下の事項をどのくらい重視しますか。
(SA)

○ キャリア教育を進める上で重視することについて、「重視したい（『重視したい』と『ある程度重視したい』の合計）」をみると、「キャリア教育を実施するための時間の確保」が96.4%と最も多く、次いで「キャリア・カウンセリング（進路相談の充実）」と「卒業後の就職や進学に関わる情報資料の収集と活用」が96.3%となっている。

図表 11 キャリア教育を進める上で重視すること

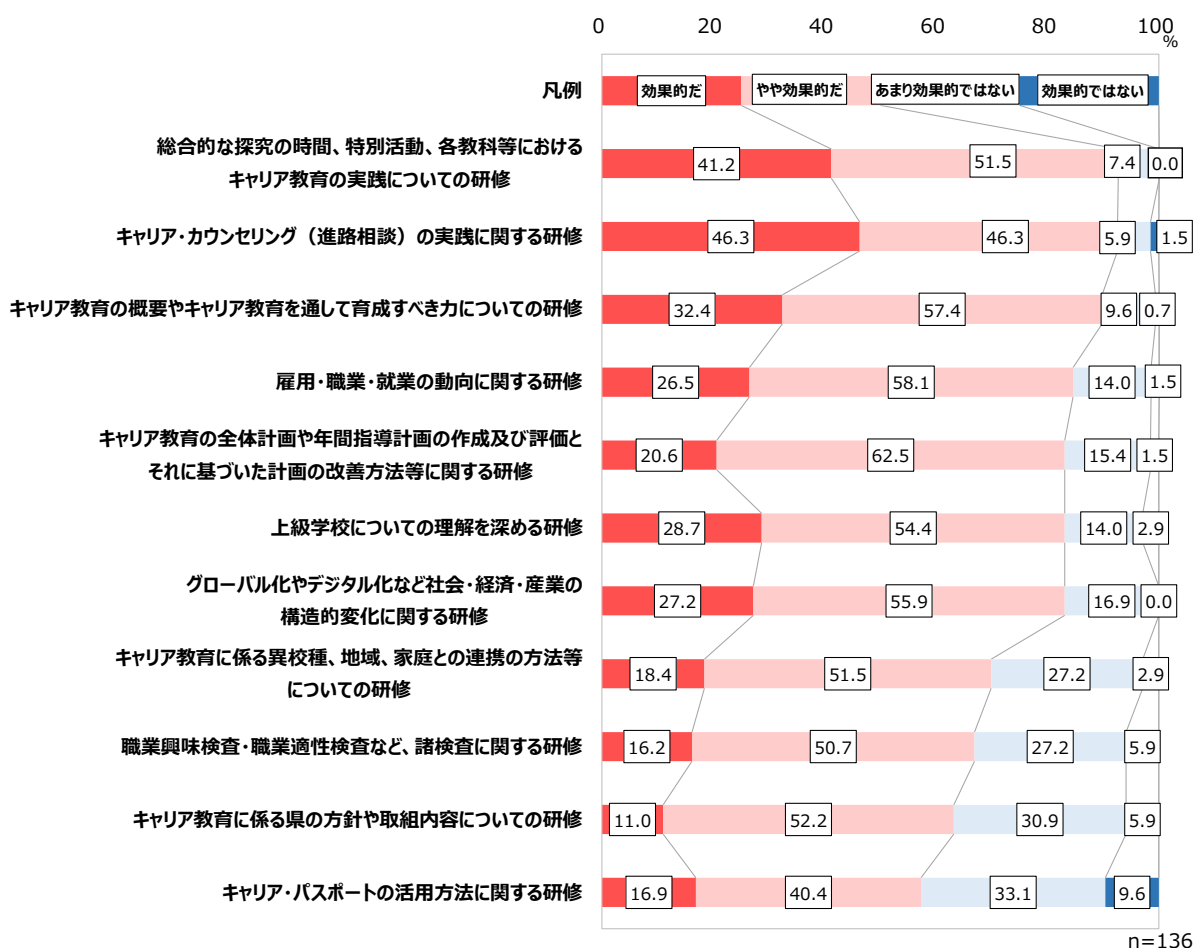


(8) キャリア教育の指導に係る効果的な研修

教員が、キャリア教育に係る指導を適切に行うことができるようになるためには、どんな研修が効果的だと思いますか。それぞれの研修について教えてください。(S A)

- キャリア教育に係る効果的な研修について、「効果的（『効果的だ』と『やや効果的だ』の合計）」をみると、「総合的な探究の時間、特別活動、各教科等におけるキャリア教育の実践についての研修」が92.7%と最も多く、次いで「キャリア・カウンセリング（進路相談）に実践に関する研修（92.6%）」、「キャリア教育の概要やキャリア教育を通して育成すべき力についての研修（89.8%）」となっている。

図表 12 キャリア教育の指導に係る効果的な研修



(9) キャリア教育推進に向けた意見

キャリア教育推進に向けて何か御意見があればご記入ください。(FA)

○ 自由意見は以下の通り。

図表 13 キャリア教育推進に向けた意見

生徒への対応

目的意識が低く、自分事として将来を考えることができない生徒への対応が難しいと感じています。

時代の流れや社会の変化はとても速いです。その時の状況に応じたキャリア教育が必要になっています。社会の状況に応じた、生徒一人一人に適したキャリア教育の難しさを感じています。

自己理解・能力の向上

上級学校や企業が高校生(受験生)に求めているものを知る機会を持たせたい(現在は高校生の視点で「これからやりたいこと」を考える方向性が多い)。

内定や合格を得てから4月のスタートまでに、どのように自己を高めさせるかが課題である。(学業への取り組みや、資格取得などに関心を抱かせる取り組みについて)

保護者への対応

保護者の進路に関する無関心さがある。進路説明会に一人も来なかった。

教員の人数不足、業務負担の軽減

新教育課程への対応等、現在の業務増大である。人員増や待遇改善などの措置と関連して推進をお願いしたい。

課題や実現したい取り組みはありますが、その他校務に対して教員数が不足しているため、改善や実現が難しい状況です。研修を充実させていただくことは非常にありがたいですが、それ以上に現場への人員を増やしていただくことの方が教育効果を高めるためには有効なのではないかと考えます。

多岐にわたりすぎていて進路部員では対処しきれない部分がある。丁寧なキャリア指導には人員が必要だと感じている。

進路担当職員の数足りていない。

教員の人数不足。

事務作業・確認作業膨大に伴う多忙化。

研修の充実

キャリア教育と職業教育の実践内容の違いが理解できていない教員が多いので研修を設ける必要があると思う。そもそも学校内のコースや課程の多さ、複数のキャンパスに対して教員数が足りないと思います。

外国籍等、様々なバックグラウンドの生徒へのキャリア教育に関する教員向けの研修などを充実させてほしい。

ノウハウの共有

効果的な指導ができてい学校を紹介していただき、誰でもその学校と同じ指導ができるマニュアルが欲しい。どうしても素晴らしい取り組みをしている学校は素晴らしい教諭の存在で実施されているケースが多い。誰でもできる様にしていただかないと差が生まれてしまいます。

県内外の高校での有効な実践事例の紹介してほしい。学習指導課のホームページ「キャリア教育実践事例集」は15年前のものなので更新してほしい。

キャリア教育を意識した学校教育活動の検討

各授業において、授業内容をキャリア教育と結びつけて活動を展開することが大変有効であると考え。キャリアについて考えさせる機会を十分に確保することができ、同時に、授業が自分の将来に有用であると認識させることができるからである。そのような取り組み方になるよう、学校内で共有を図りたい。

教員の働き方改革推進の中で、キャリア教育において、何を推進し何を削るかの検討が必要であると考え。

学校によって内容は違う。本校の場合は、基礎学力の向上と並行して進めていくものだろうと個人的に思うところである。

キャリア教育は、生徒一人一人の進路に関わりながら、個々の適性や資質能力、職業観にも通じるものだと考えます。改めてのキャリア教育ではなく、学校行事や各教科の授業、部活動等での多様な能力育成がキャリア教育に通ずるのではないのでしょうか。これまでの学校教育活動を精選しながら深化させ、その一つ一つに意味づけをすることが大事だと思います。

キャリア教育を足並みそろえて実施しづらい。

教材の提供

適切な教材等を提供できない。

校内研修で使用できるような簡単な教材（紙資料(pdf含む)やショート動画）の提供

外部機関との連携

夜間部の時間の中で、外部講師を招いて講演や説明会等を実施する場合、来校可能な講師の選択肢がどうしても少なくなる。例えば、ハローワークの職員を招きたくても、夜の時間帯では来てもらえないなどの問題がある。

コミュニティスクール化と併せて、地域連携の中でキャリア教育推進もできると効率的であると考え。

地域連携アクティブスクールとしてキャリア教育を推進するに当たり、本校周辺に企業や学校が少なく教育内容が毎年同じ内容になりマンネリ化を感じる。

その他

課程を考慮して、意見聴取・アンケートを実施してほしい。

校内で実施した成果を年度ごとにまとめる。

今後の指導に生かせるような、アンケート調査結果データの提供をお願いしたい。

III. 調査票

高等学校

「キャリア教育の推進に係る調査研究事業」アンケート票

高等学校

はじめに、学校名、回答者の役職、氏名をお答えください。

- 1 あなたが現在勤めている学校（及び課程）に対応する「調査用学校番号」を入力してください。【単回答】

	(別資料より番号を入力)
--	--------------

- 2 あなたの職名・分掌をお答えください。【単回答】

	(リストより選択)
--	-----------

貴校の生徒の進路状況と、進路決定についてのお考えをお聞かせください。

- 3 現在、貴校において高校卒業時に就職を希望する生徒はいますか。

1	いる
2	いない

- 4 【問3で「いる」と回答した場合のみ対象】貴校の生徒はどのような理由で、高校卒業後に進学せず就職を希望していると思いますか。それぞれについて、「大いに理由として考えられる」「ある程度理由として考えられる」「あまり理由として考えられない」「理由として考えられない」のいずれかを選択【マトリックス単回答】

1	若いうちから専門的な技術を身につけたいから
2	社会人として早く自立したいから
3	勉強するより仕事をする方が向いているから
4	進学したい学校がないから
5	働かなければならない事情があるから
6	進学するには学習面で不安があるから
7	先生がすすめるから
8	保護者や家族がすすめるから
9	友人や先輩がすすめるから
10	特に理由なく、なんとなく働きたい

貴校の生徒はどのような理由で、高校卒業後の進学先（学校・分野）の希望を決めていると思いますか。それぞれについて、
5 「大いに理由として考えられる」「ある程度理由として考えられる」「あまり理由として考えられない」「理由として考えられない」のいずれかを選択【マトリックス単回答】

1	自分の興味・関心に合ったことを勉強したいから
2	大学院などの上級学校に進みたいから
3	将来の職業に役立つ専門的な知識・技能を身につけたり、資格をとったりするため
4	将来の目標を見つけられそうだから
5	保護者や家族がすすめるから
6	学校の先生がすすめるから
7	塾や予備校、家庭教師の先生がすすめるから
8	友人や先輩がすすめるから
9	部活動（サークル活動など）がしたいから
10	学生生活を楽しまたいから
11	特に理由なく、なんとなく進学したい
12	進学希望先の受験科目などに苦手な科目がないから
13	将来の職業の希望が決まっておらず幅広く勉強したいから
14	その学校種のその分野に進むと卒業後の就職が有利だから

貴校の生徒は全体として、将来仕事を選ぶ際に、下記項目についてどの程度重視していると思いますか。「重視していると思う」「やや重視していると思う」「あまり重視していないと思う」「重視していないと思う」のいずれかを選択【マトリックス単回答】
6

1	好きなことや得意なことを生かせること
2	やりがいを実感できること
3	高い収入が得られること
4	休暇がとりやすいなど自分の自由になる時間が多く得られること
5	通勤の便がよいこと
6	職場の雰囲気がいよいこと
7	社会や人のために役立てること
8	失業のおそれがないこと
9	就職先が大企業であること
10	就職先の事業に将来性があること
11	職場内の研修制度が充実していること
12	結婚しても働き続けられる制度が整った職場であること
13	在宅勤務やフレックスタイム制など柔軟な働き方ができること
14	性別等にかかわらず評価され、活躍できること
15	希望するスタイル(正社員、派遣社員、パート、アルバイトなど)で働けること
16	副業が可能であること

貴校のキャリア教育の取組について質問します。

7 貴校のキャリア教育の取組姿勢について、当てはまると考えるものを教えてください。【単回答】

1	全校を挙げて積極的に取り組んでいる
2	一部の学年等で積極的に取り組んでいる
3	必要と考える取組については、一定程度取り組んでいる
4	必要と考える取組に一定程度取り組んでいる学年等と十分に取り組めていない学年等がある
5	全校的に十分に取り組めていない

8 貴校で取り組んでいる学びや活動は、生徒たちが自分の将来を考えるに当たりどの程度効果的だと思いますか。「効果的だ」「やや効果的だ」「あまり効果的ではない」「効果的ではない」「そのような取組は行っていない」のいずれかを選択【マトリクス単回答】

1	校内進路ガイダンス
2	職場見学(仕事の説明などを含む)
3	企業等でのインターンシップ
4	自分の個性や向き・不向きを考える学習
5	働くことの目的や将来の生き方などについて考える学習
6	職業や地域産業などについての調べ学習
7	大学、短期大学、専門学校の見学や説明
8	大学、短期大学、専門学校の授業体験
9	大学や研究施設等での研究活動の体験
10	社会人（卒業生、自校の先生等を含む）の講話・講演
11	ボランティア活動
12	地域の課題を調べ解決方法を考えるなどの学習
13	職種ごとの収入、休日などの労働条件の学習
14	進学にかかる費用や奨学金の制度の学習
15	労働に関する法律や制度の学習

9 【問3で「いる」と回答した場合のみ対象】生徒の就職を支援する上で課題に感じていることを全て選んでください。【複数回答】

1	生徒が社会情勢を知る機会を十分に提供できていない
2	生徒が就職先の情報を知る機会を十分に提供できていない
3	就職を希望している生徒の就職先決定に対する意欲が低い
4	生徒が自己分析をする機会を十分に提供できていない
5	生徒の社会人としての心構えや能力向上の機会を十分に提供できていない
6	生徒の就職に関する保護者との意識の共有が困難
7	企業が求める人物像がわからない
8	地元で生徒が希望する業種・職種が乏しい
9	地元企業との連携の仕方がわからない
10	就業支援を行う時間の確保が困難
11	就業支援を行える教員が少ない
12	企業の求める人材のレベルが高くなってきている
13	高校生就職活動の1人1社制により、生徒が自由に進路選択できない
14	その他（ ）
15	特になし

10 学校として、生徒たちが将来、仕事をするまでに身に付けておくべきだと考える力などを以下から上位5つまでで選んでください。【複数回答】

1	マナーや時間を守るなどの一般常識
2	様々な人の中でコミュニケーションをはかっていく能力
3	読解力や計算などの基礎的な知識や学力
4	状況の変化に柔軟に対応する能力
5	基礎的体力
6	情報を収集、選択、活用する能力
7	課題を見出し、解決に向けて計画を立て実行する能力
8	新しい知識・経験・学力を身に付けようとする意欲
9	選択肢の中から主体的に判断する能力
10	論理的にものごとを考える能力
11	アイデアや新しいことを生み出していく能力
12	相手の意見を聞いた上で自分の意見を的確に伝える能力
13	リーダーとして集団を率いていく能力
14	失敗を恐れず何事にも挑戦しようとする意欲
15	地域社会に貢献しようとする意欲
16	デジタル・IT関連の能力
17	英語などの外国語の能力
18	その他（ ）
19	特になし

11 貴校において、キャリア教育推進に向けて困っていることを全て選んでください【複数回答】

1	キャリア教育を実施する十分な時間が確保できない
2	自校の生徒に合ったキャリア教育に関する指導の内容・方法をどのようにしたらよいかわからない
3	自校の生徒に合ったキャリア教育の適切な教材が得られない
4	キャリア・カウンセリング（進路相談）の内容・方法がわかっていない教員が多い
5	キャリア教育と進路指導の違いがわかっていない教員が多い
6	キャリア教育について、学校・学年全体の共通見解が得られない
7	キャリア・パスポートの活用方法に難しさを感じている
8	キャリア教育に係る学習や体験活動について、保護者の理解や協力が得られない
9	保護者のキャリア教育に対する期待が進路先の選択やその合格可能性に偏っている
10	キャリア教育に係る学習や体験活動の計画・実施にあたって地域や企業等の協力が得られない
11	キャリア教育を推進する予算が確保できない
12	キャリア教育に関する研修の機会が限られている
13	キャリア教育の計画・実施についての評価や、それに基づいた計画や実践に関する改善がなされない
14	生徒の進学先として、高等学校の専門学科について学ぶ機会が乏しい
15	グローバル化やデジタル化など社会・経済・産業の構造的変化等の社会動向について学ぶ機会が乏しい
16	その他（ ）
17	特になし

12 貴校において、今後キャリア教育を進める上で、以下の事項をどのくらい重視しますか。「重視したい」「ある程度重視したい」「あまり重視しない」「重視しない」のいずれかを選択【マトリックス単回答】

1	学校のキャリア教育全体計画に基づく学年・学級のキャリア教育の計画の立案
2	キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫
3	キャリア教育を実施するための時間の確保
4	キャリア教育の成果に関する評価とそれに基づいた計画や実践に関する改善
5	キャリア・パスポートの活用
6	卒業後の就職や進学に関わる情報資料の収集と活用
7	キャリア・カウンセリング（進路相談）の充実
8	キャリア教育に係る研修受講等による教員の指導力向上
9	職場体験や社会人の講話など、キャリア教育にかかわる体験的な学習の充実
10	社会人や保護者の講話など、地域や家庭の教育力の活用
11	キャリア教育の計画・実施に対する保護者の理解と協力
12	キャリア教育の計画・実施に対する地元企業や地域の理解と協力

高等学校

- 13 教員が、キャリア教育に係る指導を適切に行うことができるようになるためには、どんな研修が効果的だと思いますか。それぞれの研修について教えてください。「効果的だ」「やや効果的だ」「あまり効果的ではない」「効果的ではない」のいずれかを選択【マトリックス単回答】

1	キャリア教育の概要やキャリア教育を通して育成すべき力についての研修
2	キャリア教育の全体計画や年間指導計画の作成及び評価とそれに基づいた計画の改善方法等に関する研修
3	総合的な探究の時間、特別活動、各教科等におけるキャリア教育の実践についての研修
4	キャリア教育に係る異校種、地域、家庭との連携の方法等についての研修
5	キャリア教育に係る県の方針や取組内容についての研修
6	キャリア・パスポートの活用方法に関する研修
7	キャリア・カウンセリング（進路相談）の実践に関する研修
8	上級学校についての理解を深める研修
9	職業興味検査・職業適性検査など、諸検査に関する研修
10	雇用・職業・就業の動向に関する研修
11	グローバル化やデジタル化など社会・経済・産業の構造的変化に関する研修

- 14 キャリア教育推進に向けて何かご意見があればご記入ください。【自由記述】

--	--

御協力ありがとうございました。